

2025年 河川技術シンポジウム オンライン報告会

～過去を礎に未来を拓く～

次号論文募集

あなたと河川技術シンポジウムとの距離

河川技術の“今” 河川研究の面白さ
河川管理の課題・問題意識

オンラインで聴講しよう！
会場にいってみよう！



シンポジウムでの議論に参加する！

河川技術シンポジウムに参加する

最新の河川技術／現場実践の知見



自分も発信する側に！



運営側で参加する！

河川技術論文集の一読者として

河川技術論文集に投稿する・発表する

投稿ジャンル

① 論文(理念に関する論文を含む)

論文は、河川技術上新しい事実の発見や解釈を含むものであり、科学的な手続きを踏んで得られた結果に対して論理的に筋の通った考察が加えられているもの。また、理念に関する論文とは、新しい河川整備・管理に資する理念や提案であり、新規性・有用性があり、論理的に筋の通ったもの。河川部会の活動目的「その効果や課題が具体的に明らかとなり、そのことが河川技術の発展と現場への普及を促進し、ひいては国民や流域住民の河川技術に対する肯定的認知度が高まるという好循環の形成に貢献することを目的」に照らして当該論文がどのような貢献をするのか明らかにされたものを見る。

② 総説

これまでに公表された当該分野に関する事実や論文に含まれた多くの知見を幅広く総括することによって河川技術に関する課題を比較考察し、今後の研究及び技術開発の方向性を考察した論文。

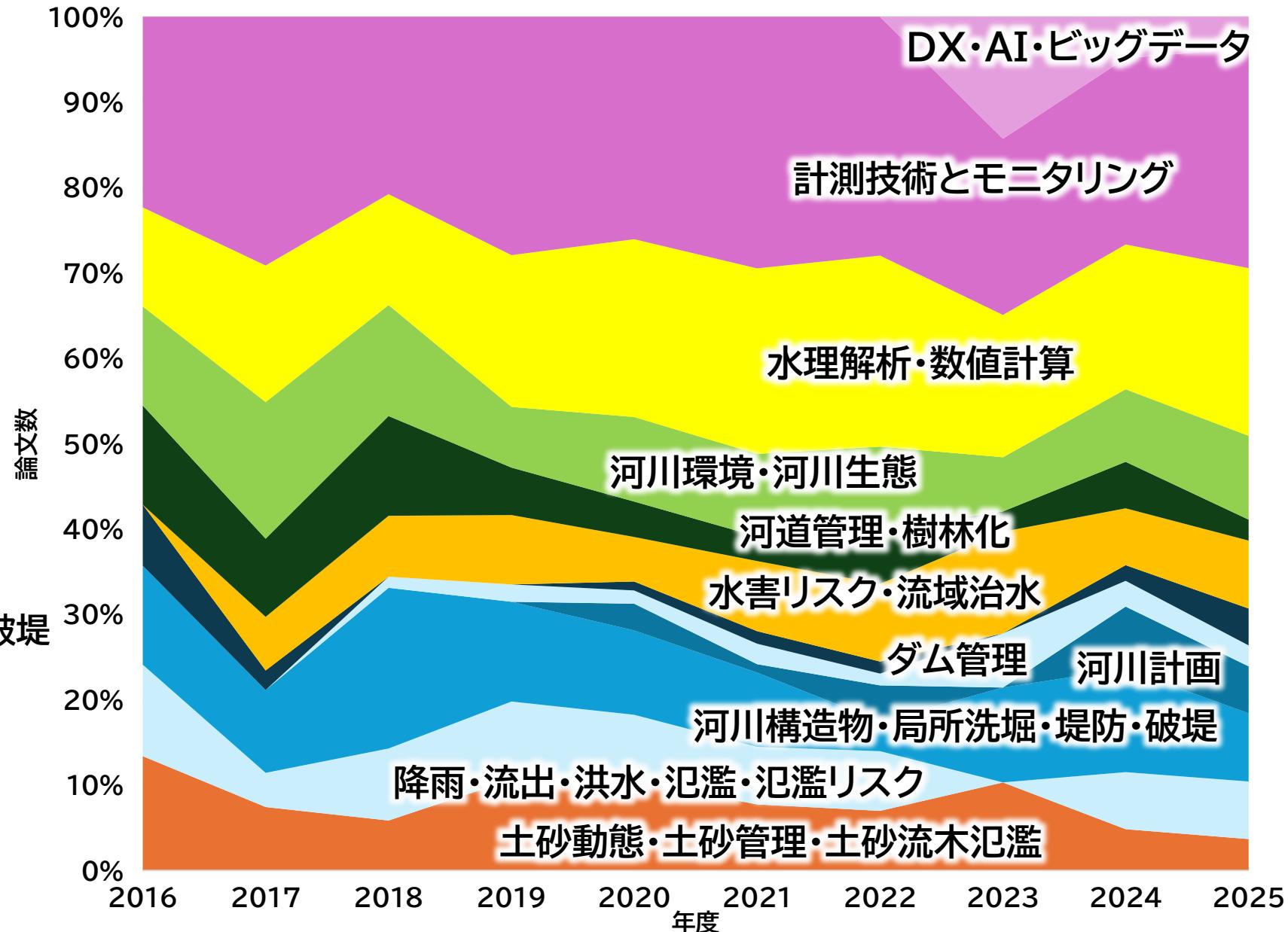
③ 報告

調査・計画・設計・施工・現場計測・研究プロジェクトなど河川技術が適用される現場での取り組みに関する報告で、河川技術的に有益な内容を含むもの。特に、現場での有用な取り組みや得られた知見を客観的に共有する点においては、論文よりも直接的なジャンルであり、河川部会ではその価値を重要視している。また、論文に求められる要件を満たす途上ではあるが、報告の価値があると考える事例研究の成果も、このジャンルに含まれる。

次号論文募集！ 一般テーマ

最新の技術を取り入れながら
継続的に議論されてきた一般
テーマ

- 論文数
- DX・AI・ビッグデータ
 - 計測技術とモニタリング
 - 水理解析・数値計算
 - 河川環境・河川生態
 - 河道管理・樹林化
 - 水害リスク／流域治水
 - 洪水流・河床変動
 - ダム管理
 - 河川計画
 - 河川構造物・局所洗堀・堤防管理・破堤
 - 降雨・流出・洪水・氾濫・洪水リスク
 - 土砂動態・土砂管理・土砂流木氾濫



次号論文募集！ 4つの特定テーマ案

特定テーマA 超過洪水に適応するための河道・堤防・氾濫原の包括的理と河川技術の再構築

- ◆ 計画規模を超える洪水が頻発し、超過洪水時に河道・堤防・氾濫原で生じる現象の理解と対策が急務である。
- ◆ 河道内流れ、堤防侵食・浸透、砂州移動、越流・決壊を含む一連のプロセスを把握し、超過洪水に対応した河道整備・管理の高度化が求められている。
- ◆ 従来の計画規模洪水を前提とした河川技術を見直し、超過洪水を前提とした新たな河川技術体系への再構築を目指す。
- ◆ 超過洪水時の水理・流砂現象の実態把握や分析、効率的な整備メニュー・整備手順、堤防決壊・氾濫流のメカニズム解明と被害軽減策等に関する論文・総説・報告を募集する。

特定テーマB 山地域から河道に至る土砂動態解明に向けた研究・技術開発

- ◆ 山地での土砂生産から河道・平野・河口域に至る土砂動態が、洪水・土砂災害、ダム堆砂、生態系・景観、海岸侵食等に与える影響に着目
- ◆ 航空レーザ測量や衛星画像など新たな計測技術により、土砂崩壊量や堆積量をどこまで評価できるか、その最新動向と事例
- ◆ 土石流・崩壊土砂の移動・堆積・分級、粒度組成の異なる山地河川の土砂移動、異なる時空間スケールの統合評価など、土砂水理学上の未解決課題に挑む研究を重視
- ◆ 山地から河道までの土砂収支を評価し、土砂管理目標・管理基準・具体的な土砂管理対策や河道計画への反映を検討した取り組み
- ◆ 先進的な総合土砂管理の事例や、今後の研究・技術開発の方向性

特定テーマC 治水目標と河川環境目標を達成するための知見と技術

- ◆ 河川環境の現状把握から定量的目標設定と達成方策(指標化、閾値設定、計画設計、現場施工等)に関する研究・事例
- ◆ 治水安全度を高めつつ環境目標達成に資する河道計画・設計・施工・維持管理、土砂動態や不確実性を踏まえた設計・順応的管理
- ◆ 流域治水、ネイチャーポジティブ、グリーンインフラ、水循環健全化など、集水域・氾濫域での取組と河川環境の関係、事業連携の枠組み
- ◆ 温暖化に伴う河川水温(ダム貯水池を含む)の変化と環境影響、観測・予測・制御・適応管理など、水温を切り口とした河川環境保全に関する研究 等

特定テーマD: 河川のDX、AI等の最新技術の実務適用とブレークスルー事例

- ◆ 三次元計測、画像、リモートセンシング等のビッグデータ取得技術と、AI・数値解析の高度化による新たな現象把握・予測・設計の可能性
- ◆ 流量・水位予測、氾濫リスク評価、水中地形把握、樹木範囲抽出、環境DNA等によるモニタリングなど、河川管理におけるDXの具体的適用事例
- ◆ BIM/CIM、ゲームエンジン、AR/VR、ICT施工、IoTセンサーなどを用いた設計・施工・管理プロセスの効率化・高度化に関する実務的成果を重視し、現場の課題解決・ワークフロー改善に直結する技術の要件を明らかにした研究・報告
- ◆ 従来困難であった課題を解決したブレークスルー事例や、河川管理のDXを大きく前進させた技術・運用の知見の共有

論文投稿から登載・発表まで



要旨投稿(締切:2026年1月8日(木)12:00)

要旨査読(河川部会員による合議)



本論文投稿(締切:2026年4月2日)

本論文査読(3名の査読者によるピアレビュー)



修正稿投稿

主査・副査による判定



登載決定!



河川技術論文集発行

河川技術シンポジウムでの発表(ポスターor口頭)
(2026年6月18日(木)・19日(金))



来年6月の河川技術シンポジウムで
お会いしましょう！

河川部会一同より